

第3回 みんなで創ろう、いのち賑わう島の未来！

# 自然共生のみらい

## 自然共生をめぐる50の試み

# 会議

佐渡島で自然環境の保全や自然資源の活用に取り組む島内外の人びとが一堂に会して情報交換を行います。

2026. 6/27(土) あいぽーと佐渡

どなたでもご参加いただけます。

参加  
無料

オンライン  
同時配信

13:00～ トークセッション

第一部

トキとの共生に取り組んできた方々の思いを聞き、佐渡のこれからを考えよう

ゲスト



高野毅さん  
生椿の自然を守る会 会長



齋藤真一郎さん  
農業生産法人有限会社  
齋藤農園 代表取締役



仲川純子さん  
NPO法人トキとき応援団  
理事長



佐々木邦基さん  
JA佐渡 自然栽培研究会  
会長

モデレーター：笹渕紘平さん(環境省)、豊田光世(新潟大学)

14:10～ 1分間プレゼン

第二部

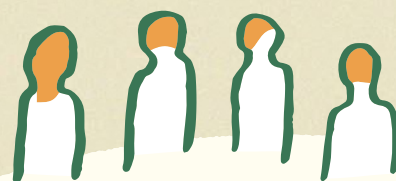
市民・企業・研究者・行政機関が登壇 50の取り組みを一挙紹介！

15:20～ テーマ別ワークショップ

第三部

循環、エネルギー、生き物など、テーマに分かれて情報交換&対話

ゲストコメンテーター：森本英香さん(元環境事務次官、佐渡市総合戦略アドバイザー)



### 参加申込

左記QRコードまたは以下のサイトからお申し込みください。  
<https://forms.microsoft.com/r/p4pKWWKWTR>  
【お問合せ先】tel.0259-22-3885  
(新潟大学 佐渡自然共生科学センター内 / 担当 菅野、豊田)  
sadolab@sharedmail.niigata-u.ac.jp

### 関連イベント

## 6/28 自然共生体験ツアー

佐渡島内の自然共生の取り組みを学ぶ3つの体験ツアー。ぜひご参加ください！

企画・運営 | 佐渡ヶ島発人材育成事業TOKItoWA



佐渡島  
自然共生  
ラボ



佐渡市



新潟大学  
NIIGATA UNIVERSITY



主催：佐渡島自然共生ラボ

協力：環境研究総合推進費戦略的研究開発課題(S-21)

「生物多様性と社会経済的要因の統合評価モデルの構築と社会適用に関する研究」

# 1分間プレゼン発表者リスト

ポスターセッション	カテゴリ名	発表者 / 発表タイトル
1	A	● <b>東京大学 (石黒 平)</b> スマート農業の普及による将来の生物多様性、自然の恵みの変化
2	A	● <b>UKUU (兵庫 勝)</b> 山、棚田、海、人の循環から生まれるエネルギー
3	A	● <b>名古屋大学環境学研究科 (平 春來里)</b> 佐渡市で考える再エネと生物多様性 -アンケート調査について
4	A	● <b>歌川 学</b> 佐渡の省エネ・再エネ100%に向けた、地域発展と両立する脱炭素対策
5	A	● <b>新潟県佐渡地域振興局農林水産振興部 (土田 倫也)</b> 農業とサドガエルの共存共栄を目指して ～ほ場整備事業新貝地区の取り組み～
6	A	● <b>佐渡市総合政策課 再エネ推進室 (藤井 貴寛)</b> 佐渡市の脱炭素化に向けた取組について
7	B	● <b>教育テック総合研究所 上級研究員 (長島 匠)</b> 古民家を8年間共同所有してみても「がやラボ」コミュニティ 羽茂大石 8年間の挑戦～
8	B	● <b>新潟県農地部農村環境課 (石川 陽子)</b> 棚田みらい応援団
9	B	● <b>Lady Garden</b> Lady Garden の おしゃべり畑♡
10	B	● <b>4Hクラブ サークル島っ子 (金子 洋樹)</b> 耕作放棄地の活用取組
11	B	● <b>新潟大学佐渡自然共生科学センター (Jasmine E. Black)</b> 国際里山研究SATOCONN:羽茂地域の里山システムの解明と自然再興の試み
12	B	● <b>コミュニティダイニング全国会議 (山口 葵)</b> 宿根木から始まる食と防災の新しいカタチ
13	C	● <b>新潟大学佐渡自然共生科学センター (佐藤 雄大)</b> みんなで作る佐渡自然共生データベース
14	C	● <b>高知大学 (松本 明)</b> 自然資本・文化資本等の価値を考慮した地域経済循環に関する研究
15	C	● <b>もったいないせんたー (みしま あすか)</b> もったいないをありがたいに繋ぐ みんなで創る地域の循環拠点
16	C	● <b>新潟大学佐渡自然共生科学センター (豊田 光世)</b> 国際里山研究SATOCONN:サーキュラーエコノミーの可能性調査
17	C	● <b>佐渡市 生活環境課 (渡邊 秀子)</b> 佐渡市のごみ減量化への取組
18	D	● <b>イケベジ (本間 涼)</b> 地域循環型農業
19	D	● <b>東京大学大学院農学生命研究科 (小川 みふゆ)</b> 人工林の管理放棄が林床植生多様性に与える影響の機械学習を用いた推定
20	D	● <b>新潟大学 (小町 亮介)</b> 竹林の拡大予測シミュレーションと抑制策の紹介
21	D	● <b>新大インカレ団体「タケノミクス」 (八下田 歩輝)</b> 学生が取り組む竹資源循環
22	D	● <b>一般社団法人ミライサト (伊藤 毅)</b> 人と自然の持続可能性
23	D	● <b>佐渡市 農林水産振興課 (末武 嗣朗)</b> 森林資源の活用と循環

ポスターセッション	カテゴリ名	発表者 / 発表タイトル
24	E	● <b>滋賀県琵琶湖環境科学センター (岩川 貴志)</b> 脱炭素・ネイチャーポジティブ同時達成に向けた 佐渡の将来シナリオ
25	E	● <b>トキの里探検隊 (本間 勉)</b> 日本文化史から見た里山の未来
26	E	● <b>一般社団法人佐渡あるもんで山 (原田 雅代)</b> 山に入って原点回帰。
27	E	● <b>三島 穂風</b> 豊かな佐渡を未来につなぐ ～今、私たちにできること～
28	E	● <b>JA佐渡自然栽培研究会 会長 (佐々木 邦基)</b> 自然の木や草花に学び、その摂理を地域に生かす
29	E	● <b>佐渡市 総合政策課 (福嶋 雅麗)</b> 佐渡市総合計画後期基本計画の策定について
30	F	● <b>環境省佐渡自然保護官事務所 (北橋 隆史)</b> トキの島を守っていくために
31	F	● <b>石川県立大学 緑地環境学研究室 (岡部 怜央)</b> 佐渡の経験を能登の「トキ野生復帰」に活かすために
32	F	● <b>新潟大学佐渡自然共生科学センター (梶田 瑠依)</b> 子どもも大人も楽しく学ぶ! ～自然共生を推し進めるカードゲームの開発～
33	F	● <b>新潟大学 (笛木 茜)</b> 水田の耕作放棄が進むと、佐渡の生物多様性はどう変わる?
34	F	● <b>むしじかん (上之山 篤人)</b> 「生きもの目線を持つ人を増やしたい」むしじかんの活動
35	F	● <b>佐渡市農業政策課 (中村 長生)</b> 佐渡市の生物多様性の取組について
36	G	● <b>佐渡島加茂湖水系再生研究所 / カモケン (永田 哲)</b> みんなが先生みんなが生徒～ヨシが結ぶ自然とヒトのつながりづくり～
37	G	● <b>新潟大学 佐渡自然共生科学センター 臨海実験所 (川坂 健人)</b> 臨海実験所での教育関係共同利用拠点としての取り組み
38	G	● <b>海藻の新たな可能性を探究するプロジェクト (正司 正)</b> 保全・生産・消費の現場をつないで佐渡島の海藻文化を再興する!
39	G	● <b>東京科学大学 (大槻 亜紀子)</b> 水路共同管理をめぐる社会的圧力のABMモデル — 佐渡の地理データとシナリオへの適用 —
40	G	● <b>両津小学校 (6年生 3チーム)</b> ①エスディー事務所 ②ゴミ分析し隊 ③チョークtoチョーク
41	G	● <b>トキの水辺づくり協議会 (清水 はな代)</b> 天王川流域を中心とした人とトキが共生する環境づくり
42	H	● <b>花の島プロジェクト (長田 悠馬)</b> 私達を“推し”にしてください
43	H	● <b>TOKItOWA (赤木 美日)</b> 佐渡から日本の地域の未来を創るTOKItOWA
44	H	● <b>子ども未来舎 りぜむ (三浦 涼平)</b> 子ども未来舎りぜむの自然を活かした活動内容
45	H	● <b>岩首めぶきラボ (佐藤 龍)</b> 岩首で取り組む地域づくり
46	H	● <b>佐渡市 移住交流推進課 (西牧 孝行)</b> 佐渡市の移住定住・交流促進施策について
47	H	● <b>CS Art Works (舘 恭介)</b> 人や地域の想いを、歌として未来に残す。

# 自然共生体験ツアー

佐渡島での自然共生に関する知見をますます深めるべく、  
取り組みを実際に見学、体験できるツアー。  
ぜひご参加ください！

2026.6/28 日



コース  
1

## 佐渡の特産品

### 「原木椎茸」から学ぶ、森里海の循環

日時：6/28(日)10:00～12:45 ※14:35のジェットfoil乗船可

集合場所：イケベジ (佐渡市豊田892)

金額：3,000円 (定員15名/ 当日、現金にてお支払いいただきます)



佐渡は農業、漁業がともに盛んな島ですが、品質の良い作物や海産物が取れる背景には、林業が支える大きく長いスパンでの循環、すなわち「森」の存在があります。本エクスカーションでは、地域循環型農業を営むイケベジの圃場を巡りながら、林業の一つである「原木しいたけ」の栽培を軸に、農業・漁業・林業の連携による循環の大切さとその可能性について深掘りしていきます。イケベジが大切にしている「生産活動が直接的に自然を豊かにする」仕組みの中で、原木しいたけの栽培がもたらす森里海の循環とは一体どのようなものなのか。その本質と未来を、現場の空気と共に体感します。お昼は、原木椎茸を使った味噌汁とご飯を、お漬物と一緒に楽しみます。季節や土地の恵みを味わいながら、佐渡の食文化の魅力も体感できるひとときです。

コース  
2

## 課題と楽しく向き合う

### 竹林整備と竹の活用

日時：6/28(日)9:30～12:00 ※13:05発のジェットfoilに乘船可

集合場所：ミライサト (佐渡市新穂正明寺1030)

金額：2,500円 (定員15名/ 当日、現金にてお支払いいただきます)



例えば「資源」、放れば「害」。建築資材や生活雑貨、農具などに重宝されてきた竹は、プラスチック製品等の普及により使用機会が大幅に減り、放置され荒廃しながら侵食を続ける竹林は「竹害」と言われるようになりました。佐渡では雪が積もって垂れ下がった竹が電線に接触。広範囲で停電が発生し無視できない課題として認識されています。ミライサトでは2年前から新潟大学「じぶんのキャンパスLios」及び竹サークル「タケノミクス」と竹林整備と竹活用に取り組んでいます。今回の自然共生体験ツアーでもみんなで楽しく課題に向き合い、自分の手でできる竹活用に挑戦してみましょう。切った竹を竹炭、竹チップなどの資源や、竹箸、竹カップなど生活の道具に変え、昼食は竹筒で炊く「筍ご飯」と、竹を組み立てた「流しそうめん」にトライします。

コース  
3

## 山里の暮らしに宿る自然共生の智慧

### 文化が育む循環を、大崎で体感する

日時：6/28(日)10:00～12:45 ※14:35のジェットfoil乗船可

集合場所：大滝楽舎 (新潟県佐渡市羽茂大崎2184)

金額：3,500円 (定員10名/ 当日、現金にてお支払いいただきます)



photo by 伊藤電太郎

佐渡南部に位置する人口200人ほどの山里・羽茂大崎には、自然の恵みを引き出し生かす暮らしの知恵と、感性や創造力を育む娯楽・芸能が今なお息づいています。時代から忘れられつつあるそれらのなかに、自然共生のヒントがあるとしたら？ 廃校を再生した大滝楽舎で民俗文化の知恵に触れ、農園みづちの圃場で朱鷺と共生する農と棚田の多面的価値を体感します。その後、しめばり山荘にて、農園みづちの稲藁を使い、絞張集落に伝わる藁細工・足半草履の製作体験を行います。仕上げまで自分の手で行い、完成した草履をお持ち帰りいただけます。お昼は、弘法大師伝説の息づく超軟水の湧水で炊いた棚田米と、大崎の山川で採れた新鮮な旬の食材を使った山賊料理を愉しめます。民俗文化・農・山里の暮らしを体現する大崎の人々とともに、知る・歩く・つくる・味わう・語る時間。自然の一部として生きる大崎の暮らしのまなざしから、現代を生きる私たちの在り方を一緒に問い直しませんか？

お申し込み  
フォーム



「自然共生体験ツアー」は右のQRコードよりお申し込みください。